

# はるちゃんの虫とり日記パート2

呉市立広小学校 2年 見世 小春

## 1 研究しようと思ったわけ

まめをとりに、え田じまに行きました。おばあちゃんといもうとがまめをとっている間に、わたしはとんぼを見つけて、あみでつかまえました。あみからだしてはなしたら、ちかくのポピーという花にとまりました。とまってにげないから、絵をかきました。上手にかけました。すごかったのです。わたしは、1年生の時に科学けんきゅうをしたことを思い出しました。今年も虫とりをして、虫となかよしになりたいと思いました。そしてちょうちょをそだててみたいと思います。

## 2 研究の計画

しらべ方

- ① 家のまわりで、虫をみつけたら、あみでつかまえる。
- ② つかまえた虫を虫かごに入れて、かんさつする。
- ③ 虫の絵をかき、文しょうでせつめいする。
- ④ おわったら、その日のうちに、つかまえたところにもどしてあげる。
- ⑤ はたけのさんしょうの木とパセリにうんだちょうちょのたまごをそだてる。どんなそだち方をするかかんさつする。

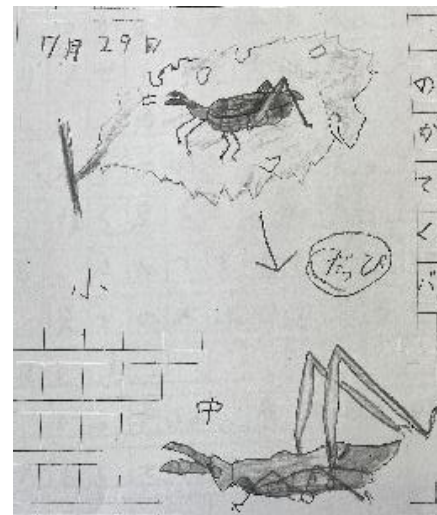
## 3 研究の準備

しらべるためにひつようなもの

- 虫とりあみ
- 虫かご
- 虫めがね
- ずかん



## 4 むしとりにつき



後ろ足をもったら、5回こめつきのようなうごきをしました。えさの大ばのところにもどしてあげました。バッタは、生まれた時からバッタの形をしているんだね。

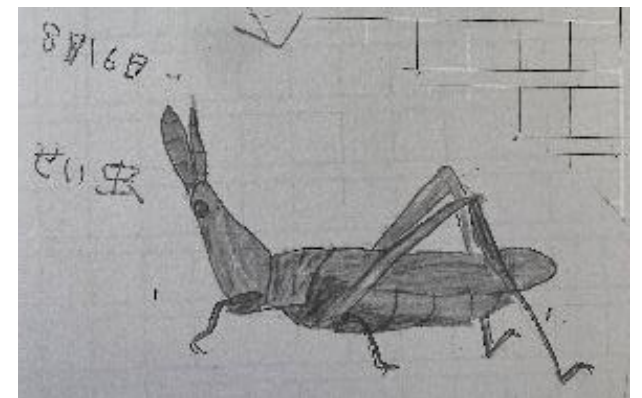
7月29日(水) - 8月16日(日)

はたけの大ばのはっぱにあながいっぱいあいていたので、よく見たら小さいバッタがたべていました。

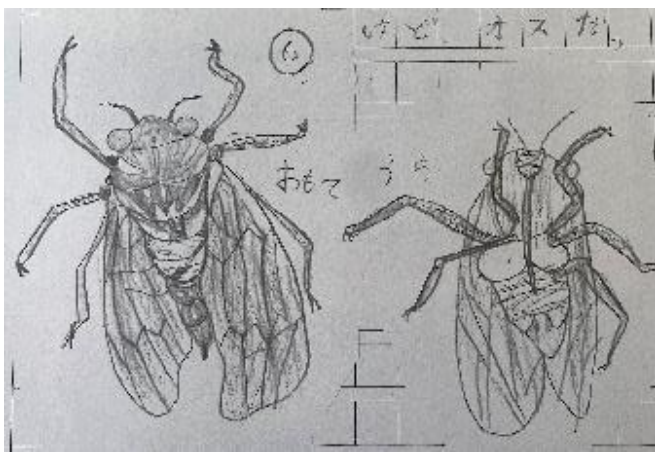
だいぶたってから行ってみたら、バッタが大きくなっていました。

8月16日に、はたけのあみに大きいショウリヨウバッタがいました。

つかまえてみたら、「ショウリヨウバッタモドキ」ではありませんでした。かおは三角、目は赤、しよっ角はオレンジ、おなかはちゃ色で、本もののショウリヨウバッタでした。



## 5 セミとアゲハチョウのよう虫をそだてたこと



(セミをそだてたときのようすより)

9じごろ、はねがだんだんのびてきた。はねのいろがだんだんちやいろになってきました。はじめて見たので、きれいだな、と思いました。

8月12日朝、カーテンのてっぺんで、アブラゼミを見つけました。体は小さいけれど、オスでした。

「ジージー」となくかと思ったら、おとなしくてしずかでした。

おじいちゃんの家に見せに行きました。

はじめてセミになるところを見られてかんげきしました。らい年は、よう虫をじぶんでつかまえたいと思います。

おばあちゃんといっしょににがしてあげると、うれしそうにはねを広げて、おじいちゃんの家のもとで行きました。

## 6 むしのことのまとめ(わかったこと)

つかまえたむしごとに、「体」「はね」「目」「口」などのこうもくで分けて、ひょうでせりしました。

|    |          |           |         |          |
|----|----------|-----------|---------|----------|
| 体  | 黄色<br>くろ | 赤<br>オレンジ | くろ<br>白 | 水色<br>黄色 |
| 足  | 6本       | 6本        | 6本      | 6本       |
| はね | 4まい      | 4まい       | 4まい     | 4まい      |
| 目  | みどり      | 赤         | ち色      | みどり      |
| 口  | かむ口      | かむ口       | かむ口     | かむ口      |

## 7 たのしかったこと(振り返り)

- ・むしとりがたのしかったです。セミが上手につかまえられるようになりました。
- ・今年は、たまごやよう虫をそだてて、ちょうやせみになるところを見ることができました。かんさつをするのが毎日たのしかったです。
- ・つかまえた虫をにがしてあげる時、「ありがとう。またきてね」と思いながらいっぱいしました。

1年生の時には、いろいろな虫を捕まえて観察する科学研究に取り組んでいます。2年生になった今年も、たくさんの虫とりに挑戦し、その虫を細部までいねいに観察しています。また、パセリ等で見つけたアゲハチョウのたまごを成虫になるまで育て、観察するなど、自然に親しみ、楽しみながら研究を進めることができます。